



生活系の中長期シナリオの概要

東京湾は他湾に比べ下水道人口普及率が高いのが特徴である。今後の生活排水対策は、下水道と合併処理浄化槽が中心となり、更なる普及が進められる。また、高度処理化も順次進められるとともに、高度処理共同負担制度により費用対効果を考慮したより効果的な処理が進むと考えられる。

また、合流式下水道の普及率が高いのも特徴である。従って、現在進められている合流式下水道改善対策は、大きな環境改善効果があげられると期待される。

なお、中長期シナリオでは、平成36年度段階において、生活排水処理率は全域でほぼ100%に達すると考えられている。